

# 2021年3月期 決算説明会

---

2021年5月25日（火）



信金中央金庫

## I. 2021年3月期 決算の概況

・ 2021年3月期 決算の総括	3
・ 経常利益の状況	4
・ 純利益および純資産の状況	5
・ 資金調達・資産運用の状況	6
・ 有価証券の状況	7
・ 貸出金の状況	9
・ 利鞘およびROEの状況	10
・ 自己資本比率（国内基準）の状況	11
・ 中期経営計画における目標収益水準などの状況	12
・ 2022年3月期 業績の予想	13

## II. 信金中金の経営戦略

・ 中期経営計画『SCB戦略2019』	15
・ 中期経営計画『SCB戦略2019』関連施策	16
・ 『新型コロナ対応』施策	25
・ 信用金庫のネットワーク	26

# I. 2021年3月期 決算の概況

---

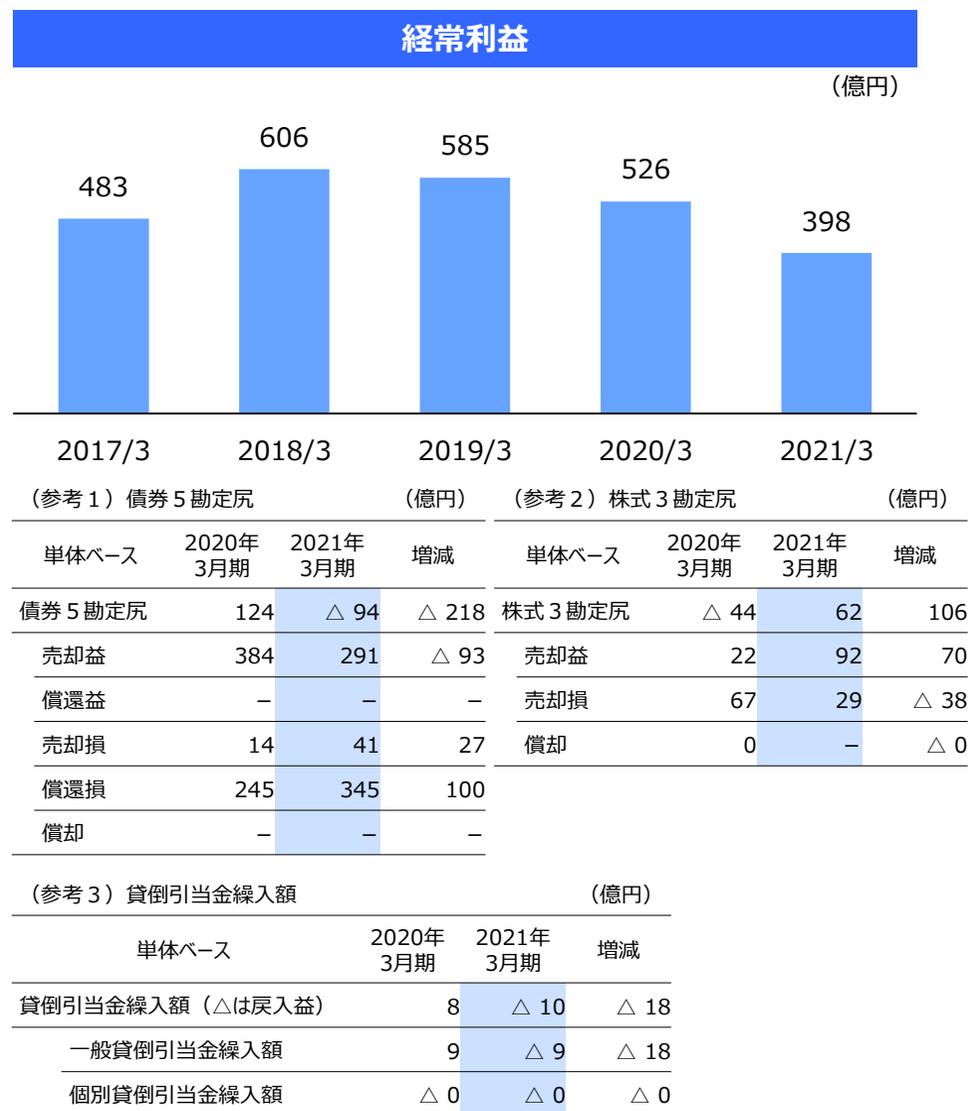
# 2021年3月期 決算の総括

【業績】	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	2021年 3月期予想
単体	経常利益	526 億円	△ 128 億円	390 億円
	当期純利益	379 億円	△ 84 億円 (増減率 △ 22.0%)	280 億円 (達成率 105.6%)
連結	経常利益	567 億円	△ 132 億円	420 億円
	親会社株主に 帰属する当期純利益	402 億円	△ 86 億円 (増減率 △ 21.3%)	300 億円 (達成率 105.4%)

【自己資本比率（国内基準）】	2020年 3月末	2021年 3月末	増減	2021年 3月末予想
単体	25.18 %	26.29 %	1.11 pt	20 %台
連結	24.31 %	25.60 %	1.29 pt	20 %台

# 経常利益の状況

			(億円)
単体ベース	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
1 経常収益	2,665	2,272	△ 393
2 資金運用収益	2,070	1,747	△ 323
3 (うち貸出金利息)	204	175	△ 29
4 (うち有価証券利息配当金)	1,766	1,500	△ 266
5 信託報酬	7	12	5
6 役務取引等収益	86	78	△ 8
7 特定取引収益	15	8	△ 7
8 その他業務収益	457	318	△ 139
9 その他経常収益	27	107	80
10 経常費用	2,138	1,873	△ 265
11 資金調達費用	1,136	839	△ 297
12 (うち預金利息)	418	332	△ 86
13 (うち債券利息)	30	16	△ 14
14 役務取引等費用	73	70	△ 3
15 特定取引費用	-	1	1
16 その他業務費用	541	608	67
17 経費	311	324	13
18 その他経常費用	75	29	△ 46
19 経常利益	526	398	△ 128



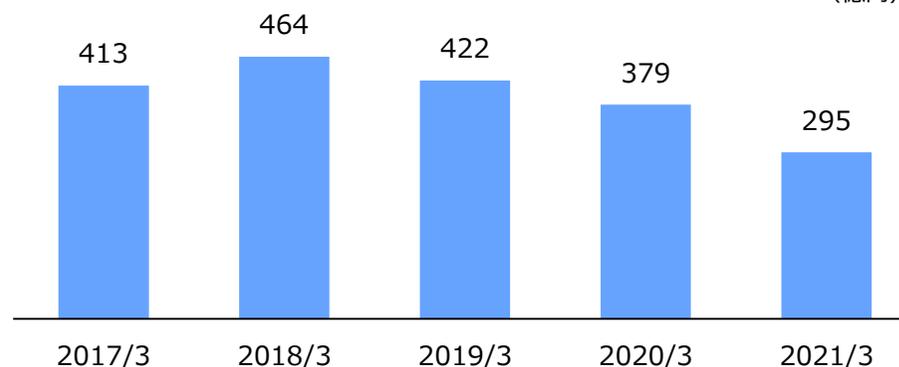
# 純利益および純資産の状況

(億円)

	単体ベース	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
1 経常利益		526	398	△ 128
2 特別損益		△ 3	△ 1	2
3 税引前当期純利益		522	397	△ 125
4 法人税等合計		143	102	△ 41
5 当期純利益		379	295	△ 84

## 当期純利益

(億円)

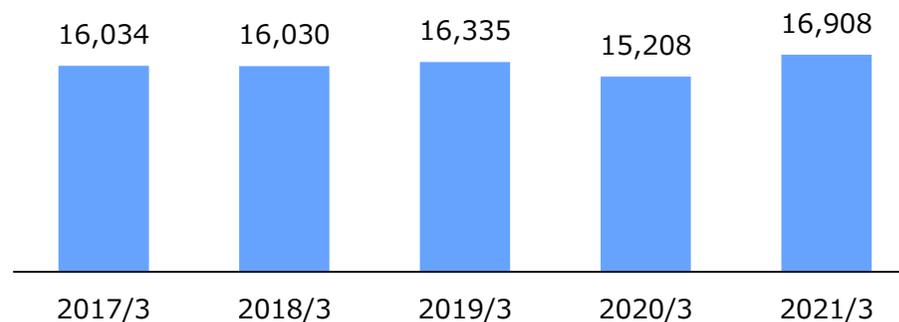


(億円)

	単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
6 純資産の部合計		15,208	16,908	1,700
7 会員勘定合計		13,808	13,908	100
8 評価・換算差額等合計		1,399	2,999	1,600
9 (うちその他有価証券評価差額金)		2,787	3,056	269
10 (うち繰延ヘッジ損益)		△ 1,537	△ 205	1,332

## 純資産

(億円)



(参考)

(億円)

11 配当可能限度額		3,125	4,526	1,401
------------	--	-------	-------	-------

注：剰余金処分による配当流出前（2019年度配当金：196億円、2020年度配当金(予定)：196億円）

# 資金調達・資産運用の状況

(億円)

単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
<b>1 資金調達</b>	<b>386,561</b>	<b>416,039</b>	<b>29,478</b>
2 預金（譲渡性預金含む）	312,085	337,879	25,794
3 信金中金債	21,414	17,742	△ 3,672
4 借入金等	53,060	60,417	7,357

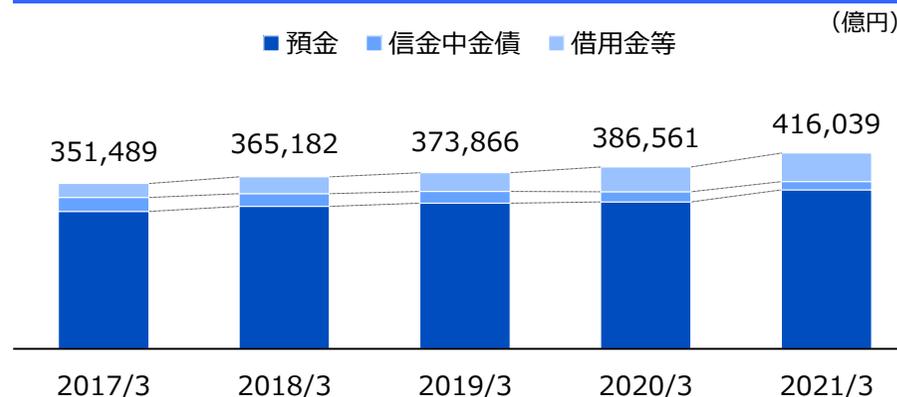
注：借入金等には、コールマネー、売現先勘定、債券貸借取引受入担保金、信託勘定借を含んでおります。

(億円)

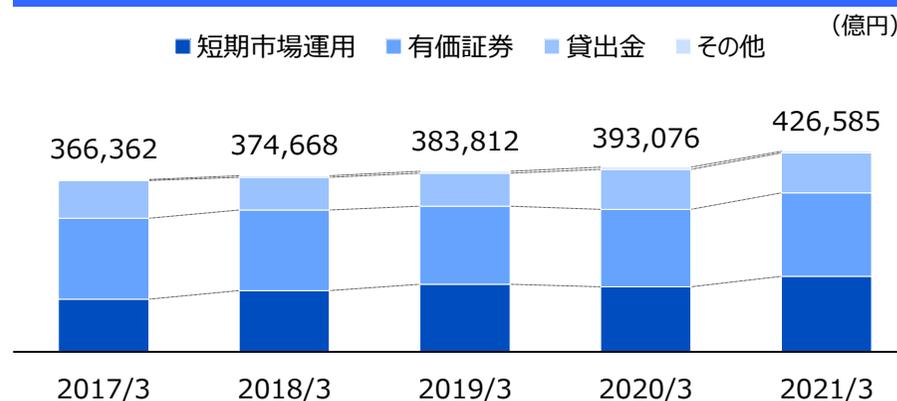
単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
<b>5 資産運用</b>	<b>393,076</b>	<b>426,585</b>	<b>33,509</b>
6 短期市場運用	138,673	160,975	22,302
7 有価証券	164,773	177,449	12,676
8 貸出金	84,740	84,510	△ 230
9 特定取引資産	3,852	2,570	△ 1,282
10 金銭の信託	1,037	1,080	43

注：短期市場運用は、現金、預け金、コールローン、買現先勘定、買入金銭債権です。

## 資金調達の状況



## 資産運用の状況



# 有価証券の状況①

(億円)

単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
<b>1 有価証券</b>	<b>164,773</b>	<b>177,449</b>	<b>12,676</b>
2 国債	45,992	59,711	13,719
3 地方債	14,251	18,218	3,967
4 短期社債	380	-	△ 380
5 社債	47,054	41,140	△ 5,914
6 (うち政府保証債・公社公団債)	41,222	36,149	△ 5,073
7 株式	978	1,024	46
8 その他の証券	56,115	57,354	1,239
9 (うち投資信託)	5,370	4,750	△ 620
10 (うち外国証券)	48,869	50,732	1,863

(参考1) デュレーション

(年)

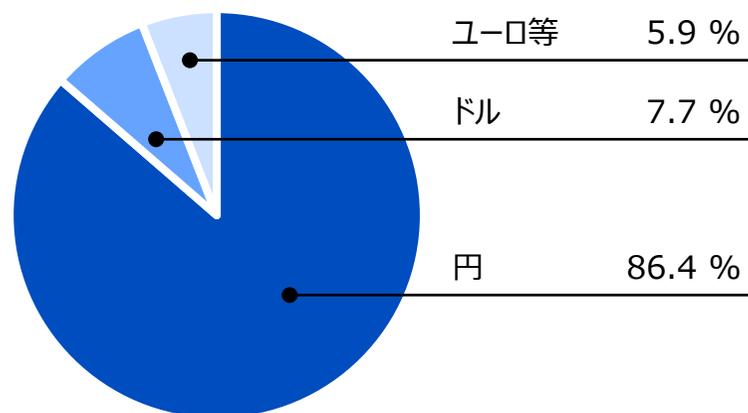
単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
11 ヘッジ考慮前	4.81	4.40	△ 0.41
12 ヘッジ考慮後	2.70	2.91	0.21

(参考2) 銀行勘定の金利リスク (IRRBB)

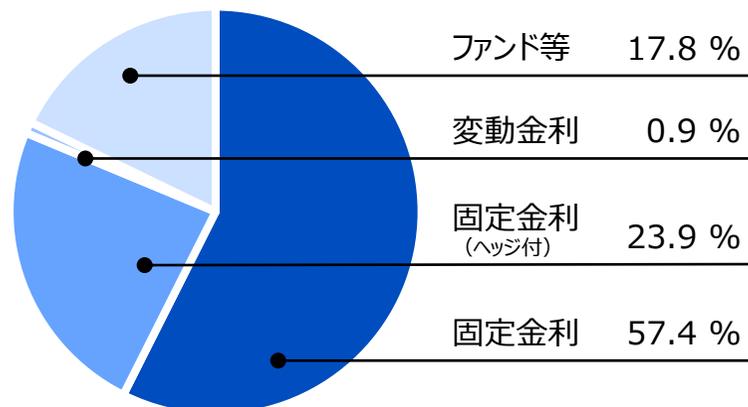
(%、億円)

単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
13 ΔEVEの最大値/自己資本の額	20.53	25.59	5.06
14 ΔNIIの最大値	145	271	126

## 通貨別内訳



## 金利別内訳



# 有価証券の状況②

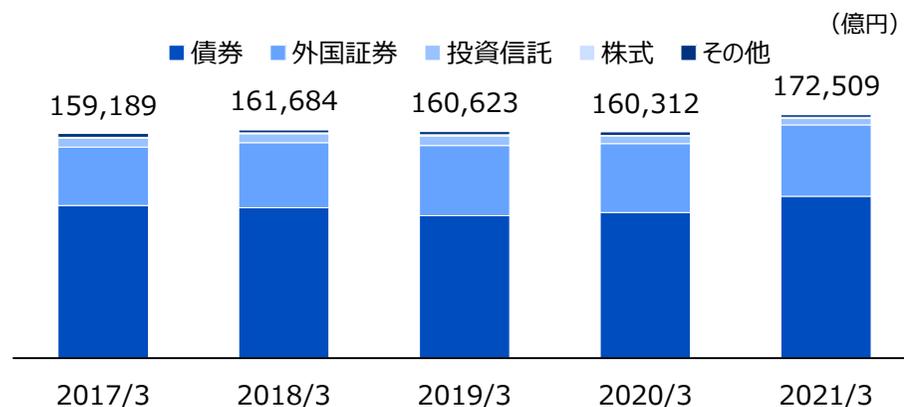
(億円)

単体ベース	2020年3月末		2021年3月末		増減	
	残高	評価差額	残高	評価差額	残高	評価差額
1 <b>その他有価証券</b>	<b>160,312</b>	<b>3,929</b>	<b>172,509</b>	<b>4,248</b>	<b>12,197</b>	<b>319</b>
2 株式	555	218	600	291	45	73
3 投資信託	5,370	615	4,750	748	△ 620	133
4 債券	103,282	1,041	114,682	522	11,400	△ 519
5 外国証券	48,767	2,047	50,578	2,683	1,811	636
6 その他	2,336	6	1,898	2	△ 438	△ 4
7 <b>満期保有目的債券</b>	<b>4,395</b>	<b>687</b>	<b>4,388</b>	<b>579</b>	<b>△ 7</b>	<b>△ 108</b>
8 <b>合計</b>	<b>164,708</b>	<b>4,617</b>	<b>176,898</b>	<b>4,827</b>	<b>12,190</b>	<b>210</b>
9 ヘッジ考慮後のその他有価証券に係る評価差額		1,816		4,001		2,185

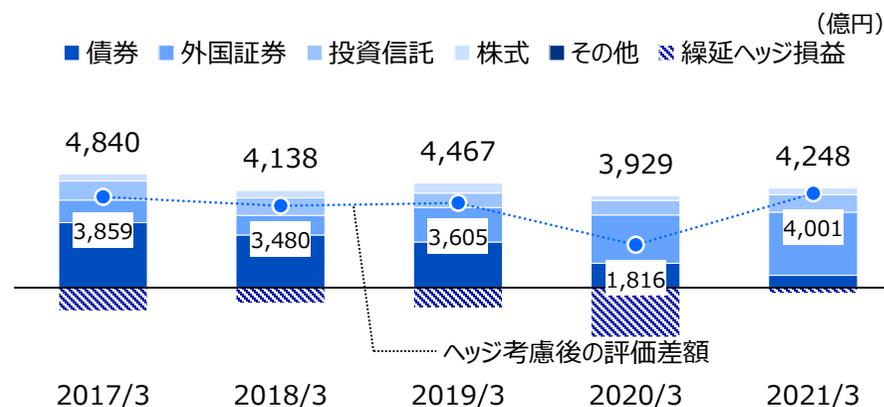
注1：残高は貸借対照表計上額です。なお、時価を把握することが極めて困難な有価証券は本表に含んでおりません。

注2：貸借対照表上の「有価証券」のほか、「預け金」中の譲渡性預け金および「買入金銭債権」中の信託受益権等を含んでおります。

その他有価証券残高



その他有価証券評価差額



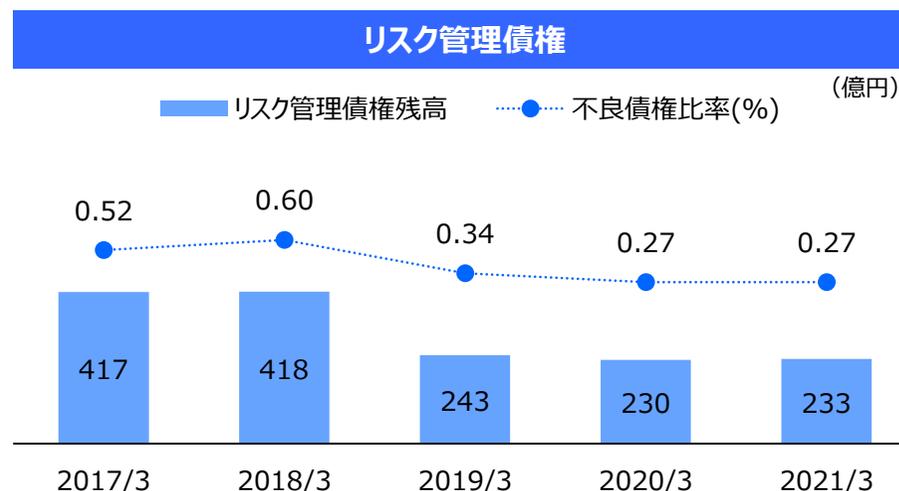
# 貸出金の状況

(億円)

単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
<b>1 貸出金</b>	<b>84,740</b>	<b>84,510</b>	<b>△ 230</b>
2 会員（信用金庫）	5,725	5,529	△ 196
3 会員外	79,015	78,980	△ 35
4 代理貸付	3,611	3,239	△ 372
5 直接貸出	75,404	75,741	337
6 国・政府関係機関	33,241	32,998	△ 243
7 地方公共団体	2,875	2,944	69
8 地方公社等	49	55	6
9 公益法人等	664	1,413	749
10 事業会社	36,768	36,797	29
11 非居住者	1,803	1,532	△ 271
12 その他	0	0	△ 0

(億円、%)

単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
<b>13 リスク管理債権残高合計</b>	<b>230</b>	<b>233</b>	<b>3</b>
14 破綻先債権	0	0	△ 0
15 延滞債権	39	33	△ 6
16 3か月以上延滞債権	0	10	10
17 貸出条件緩和債権	190	189	△ 1
<b>18 不良債権比率</b>	<b>0.27</b>	<b>0.27</b>	<b>0.00</b>



# 利鞘およびROEの状況

(%)

	単体ベース	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
1	<b>資金運用利回</b>	<b>0.60</b>	<b>0.48</b>	△ <b>0.12</b>
2	貸出金利回	0.26	0.21	△ 0.05
3	有価証券利回	1.09	0.90	△ 0.19
4	<b>資金調達原価率</b>	<b>0.34</b>	<b>0.25</b>	△ <b>0.09</b>
5	預金等利回	0.12	0.09	△ 0.03
6	債券利回	0.13	0.08	△ 0.05
7	外部負債利回	0.53	0.09	△ 0.44
8	経費率	0.07	0.07	△ 0.00
9	<b>総資金利鞘</b>	<b>0.26</b>	<b>0.23</b>	△ <b>0.03</b>

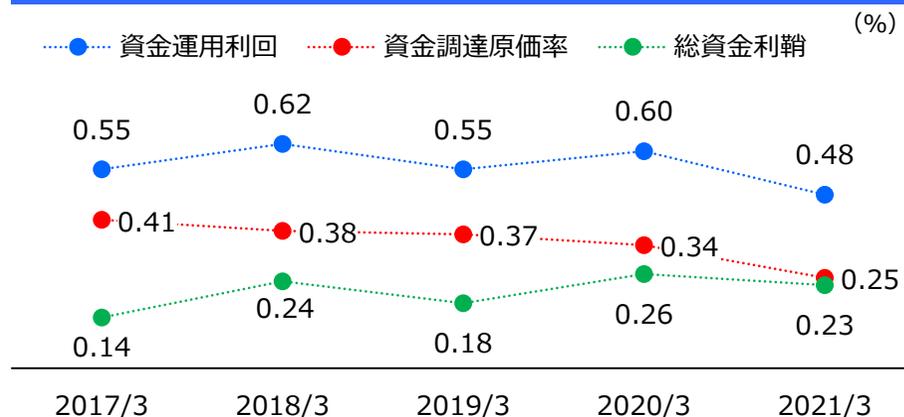
注1：預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

注2：外部負債は、借入金、コールマネー、売現先勘定、債券貸借取引受入担保金、信託勘定借です。

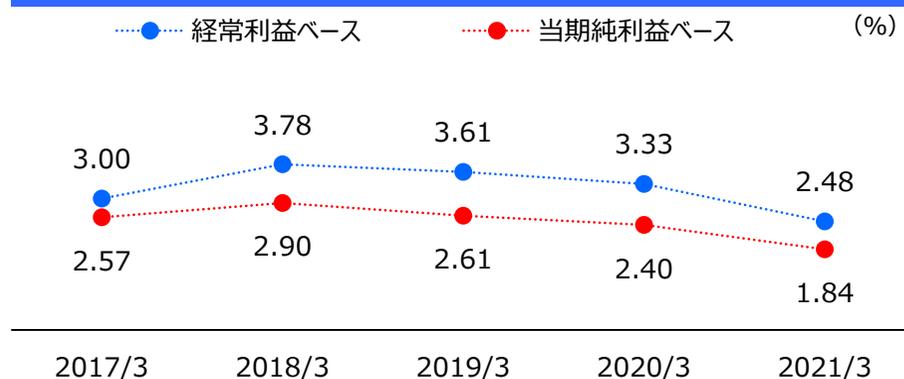
(%)

	単体ベース	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
10	ROE（経常利益ベース）	3.33	2.48	△ 0.85
11	ROE（当期純利益ベース）	2.40	1.84	△ 0.56

## 利鞘の状況



## ROEの状況



# 自己資本比率（国内基準）の状況

(億円、%)

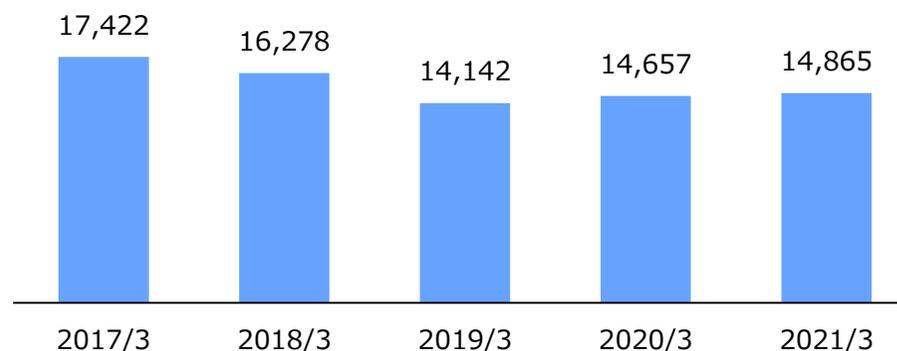
単体ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
1 コア資本に係る基礎項目の額	15,569	15,649	80
2 コア資本に係る調整項目の額	911	784	△ 127
3 自己資本の額	14,657	14,865	208
4 (うち経過措置適用額)	1,662	1,653	△ 9
5 リスク・アセット等の額の合計額	58,199	56,536	△ 1,663
<b>6 自己資本比率</b>	<b>25.18</b>	<b>26.29</b>	<b>1.11</b>

(億円、%)

連結ベース	2020年 3月末	2021年 3月末	増減
7 コア資本に係る基礎項目の額	15,785	15,906	121
8 コア資本に係る調整項目の額	1,022	885	△ 137
9 自己資本の額	14,762	15,021	259
10 (うち経過措置適用額)	1,711	1,691	△ 20
11 リスク・アセット等の額の合計額	60,716	58,672	△ 2,044
<b>12 自己資本比率</b>	<b>24.31</b>	<b>25.60</b>	<b>1.29</b>

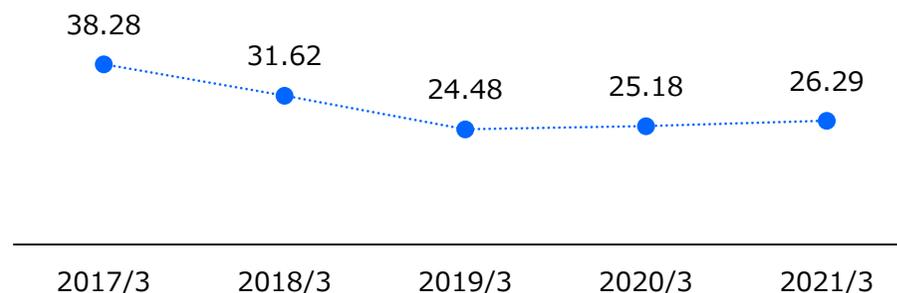
## 自己資本の額（単体）

(億円)



## 自己資本比率（単体）

(%)



## 中期経営計画「SCBストラテジー2019」

### ■ 目標収益水準

親会社株主に帰属する当期純利益

400億円程度※

※ 2020年度業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響により、金融市場が極めて不透明であったことから、安定性を重視したリスク抑制的なポートフォリオ運営を実施することとしたため、300億円としました。

### ■ 経営指標の維持すべき水準

連結自己資本比率（国内基準）

15%以上

配当可能限度額

2,000億円以上

## 2021年3月期実績

親会社株主に帰属する当期純利益

316億円※

※ 2020年度業績予想（300億円）に対する達成率：105.4%

連結自己資本比率（国内基準）

25.60%

配当可能限度額

4,526億円

注：計画期間 2019年4月1日～2022年3月31日（3か年）

# 2022年3月期 業績の予想

【業績予想】		2021年 3月期実績	2022年 3月期予想	増減
単体	経常利益	398 億円	440 億円	42 億円
	当期純利益	295 億円	330 億円	35 億円
連結	経常利益	435 億円	470 億円	35 億円
	親会社株主に 帰属する当期純利益	316 億円	350 億円	34 億円

【自己資本比率（国内基準）の予想】		2021年 3月末実績	2022年 3月末予想	増減
単体		26.29 %	20 %台	—
連結		25.60 %	20 %台	—

【1口あたり年間配当金の予想】		2021年 3月期予定	2022年 3月期予想	増減
一般普通出資配当金		3,000 円	3,000 円	—
特定普通出資配当金		1,500 円	1,500 円	—
優先出資配当金		6,500 円	6,500 円	—

注：中間配当は、「信用金庫法」および「協同組織金融機関の優先出資に関する法律」に中間配当の制度がないため、実施しておりません。

## Ⅱ. 信金中金の経営戦略

---

## 【信金中金が5～10年後に目指す姿】

信金中金は、信用金庫とともに、各々が強みとする分野への経営資源の適正配分を実現することで、1つの金融グループとして、より一体的な業務運営態勢を構築し、業界の競争力を高め、信用金庫が地域において最も信頼される金融機関となることを目指す。

## 優先度の高い7つの戦略ー



## 目標収益水準

親会社株主に帰属する当期純利益  
**400億円程度**

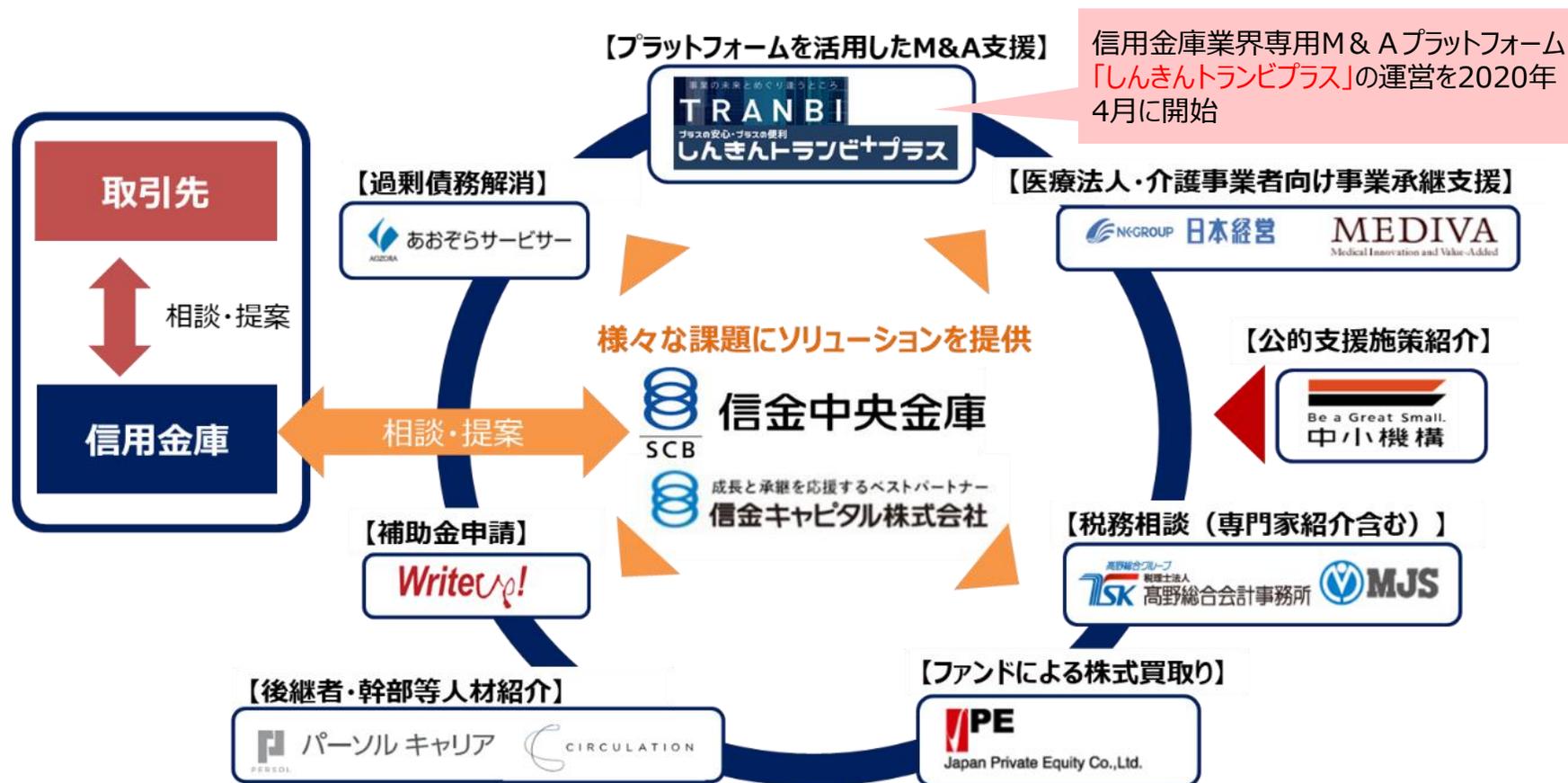
## 経営指標の維持すべき水準

連結自己資本比率（国内基準）  
**15%以上**

配当可能限度額  
**2,000億円以上**

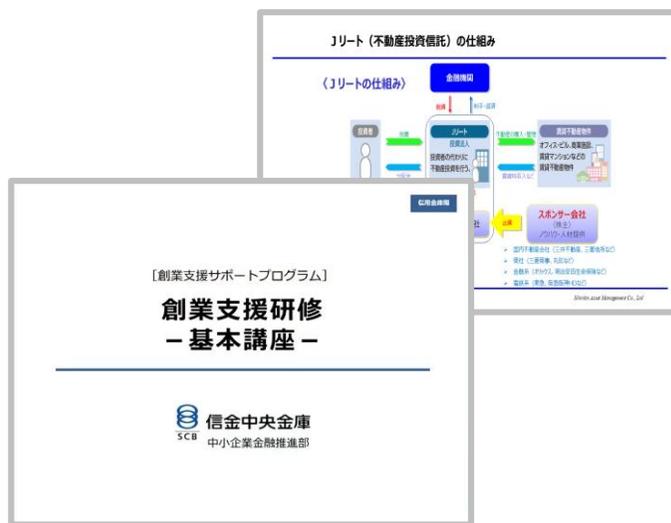
- 2021年1月に、事業承継の様々な課題をワンストップで適切な外部専門機関をコーディネートする体制を構築
- 本中金グループがハブとなって信用金庫と外部専門機関を繋げ、取引先の事業承継を円滑に進めることを目指す

## 【「しんきん事業承継コンソーシアム」の概要】



- ▶ 2020年10月から、信用金庫役職員向けに eラーニングシステム「Sels（セルズ）」を提供
- ▶ インターネット経由でスマホ・PC等から受講でき、動画視聴のほか音声のみやテキストの閲覧など様々な受講ニーズに対応

## 【概要】



信用金庫の実務に沿った、**充実した教材**を用意

スマホやPCで、**24時間・365日**受講可能

講座数：**76講座**  
受講者数：**6,578人**  
(2021年3月末時点)

利用料・受講料は**無料**

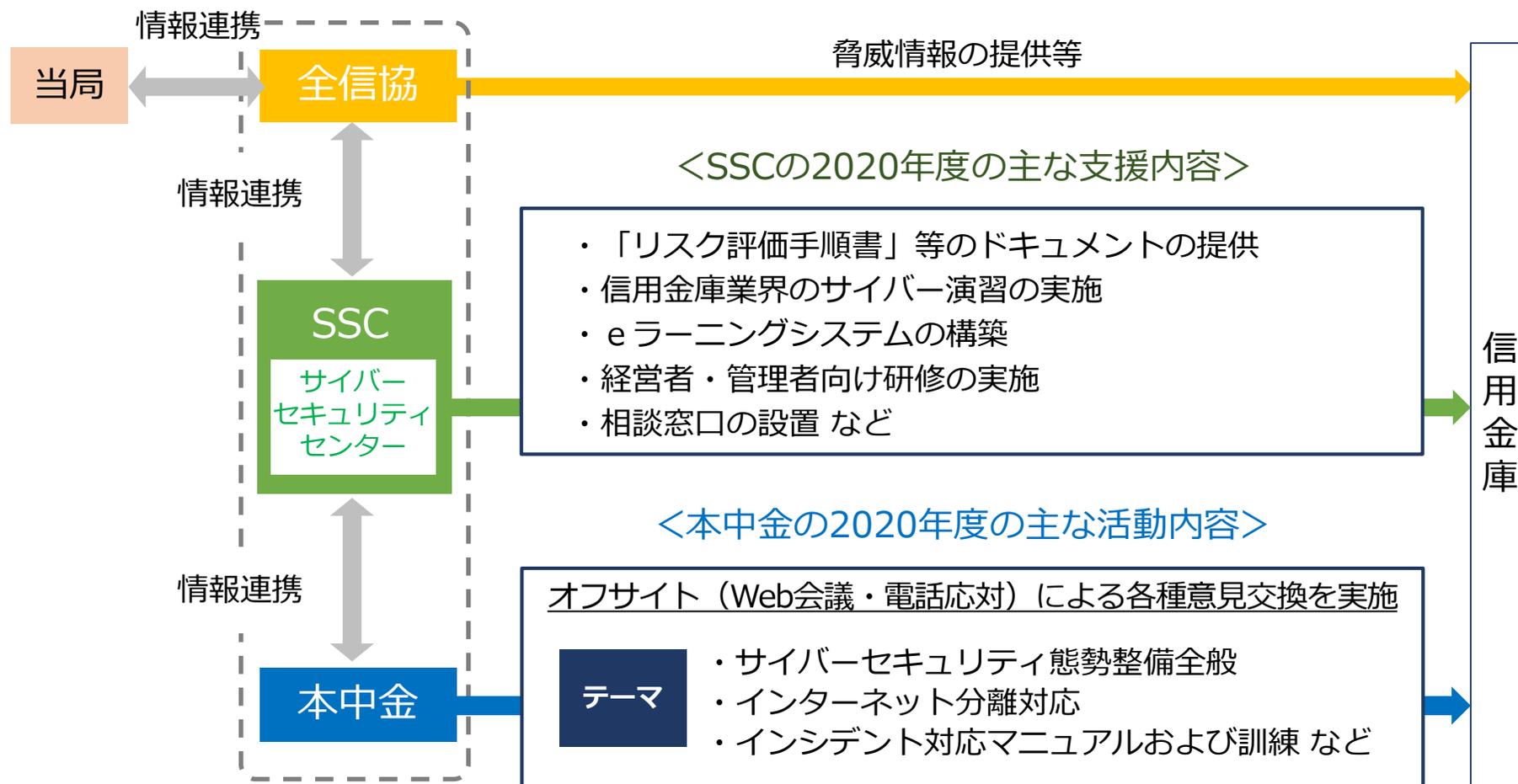
## 【主な教材】

市場業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 債券の基礎</li> <li>• VaRの基礎</li> </ul>
中小企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 介護サービスの事業性評価にかかる研修</li> <li>• 取引先に対する新型コロナ対応支援講座</li> </ul>
事業承継	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 決算書から見る事業承継ニーズへのアプローチ</li> <li>• 信用金庫におけるM&amp;A業務の推進について</li> </ul>
創業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 創業支援研修基本講座</li> <li>• 「しんきんの翼」ご活用のポイント</li> </ul>
地域創生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域創生支援施策セミナー</li> <li>• 地域創生セミナー</li> </ul>
信託	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 相続マーケットの現状</li> <li>• 「こころのバトン」、「こころのリボン」について</li> </ul>
預かり資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>• しんきんiDeCo新規加入受付手続き等について</li> </ul>
海外ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 信用金庫による海外ファイナンス</li> <li>• 外国人労働力についての基礎</li> </ul>

※ 上記は教材の一部、教材は順次追加

- 本中金子会社(株)しんきん情報システムセンター（SSC）は、2020年1月にサイバーセキュリティセンターを設立
- 本中金・（一社）全国信用金庫協会等の関係機関と協力し、信用金庫向けに態勢整備等にかかる施策を実施

## 【信用金庫業界のサイバーセキュリティ支援体制】



- 2020年12月に、N T T 東日本と連携してコミュニケーションアプリ「しんきんdirect」を信用金庫向けにリリース
- 信用金庫の役職員同士や、信用金庫役職員とお客さま・外部連携先との新たなオンラインの接点を提供

## 【「しんきんdirect」の活用イメージ】

### <信用金庫内での利用イメージ>

- ✓ コミュニケーションの活性化
- ✓ 本部・営業店間の業務における活用

#### 信用金庫での導入事例

- ブロック内の担当者における情報共有、勉強会ツールとして活用
- 緊急時における役員間の連絡ツールとして活用

### <お客さまとの利用イメージ>

- ✓ お客さまとの伴走支援ツール
- ✓ 顧客囲い込み・複数人の伴走支援ツール

#### 信用金庫での導入事例

- 若手経営者の会など、顧客組織への付加価値サービスとして活用
- 本部担当者とのオンライン同行訪問時に活用



2020年12月にリリース  
2021年3月末時点で  
38金庫※が導入

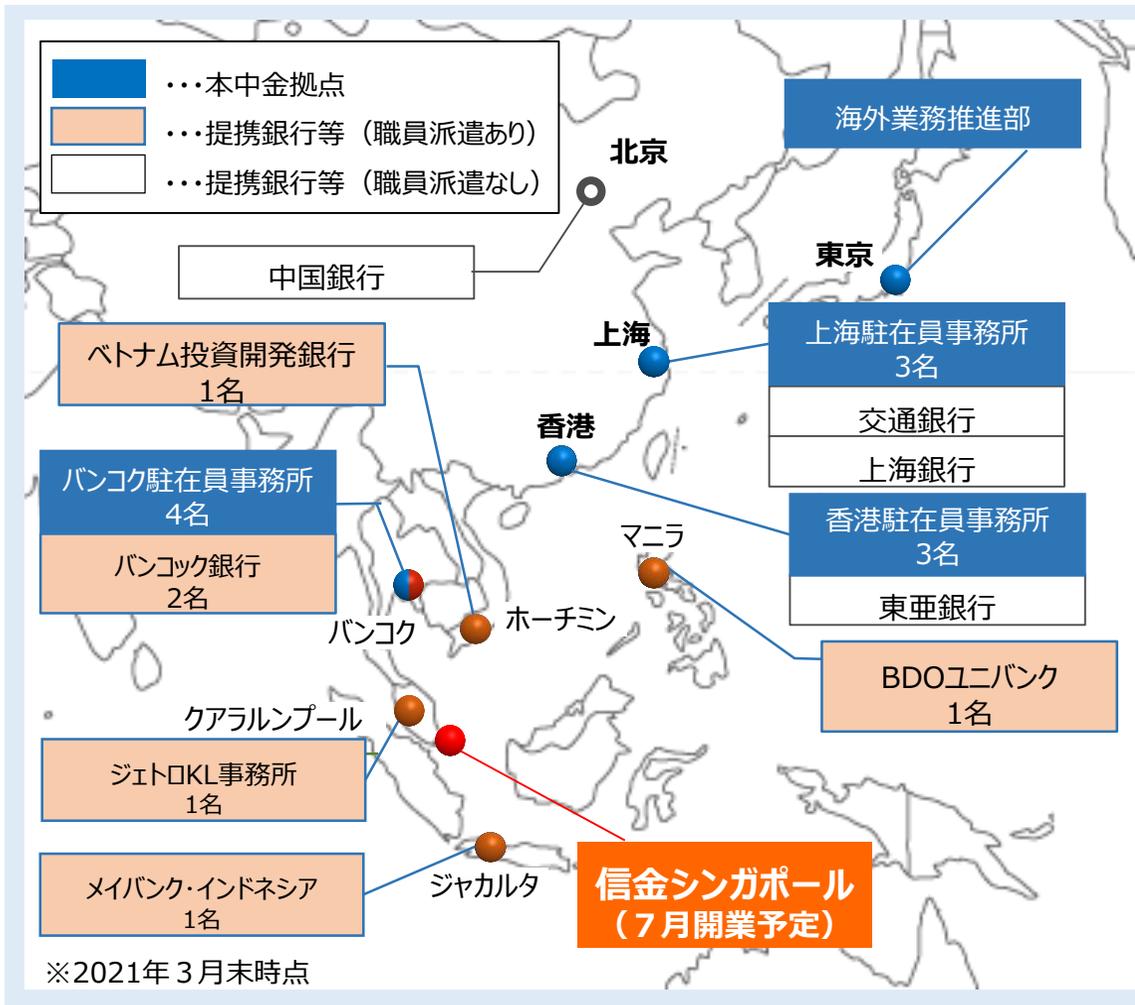


実証実験を通じて  
金融取引サービスなどの  
機能を追加予定

※無料トライアル版の「お試しプラン」を含む。

# シンガポール現地法人の設立

- 本中金の新たなアジア拠点として、2021年2月に現地法人「信金シンガポール(株)」を設立、7月に開業予定
- 中小企業に対するファイナンスおよび販路開拓支援の充実等により、信用金庫業界のアジアにおける支援態勢を強化



信金シンガポール株式会社  
(Shinkin Singapore Pte. Ltd.)

<ビジョン>

アジアの成長力を信用金庫とともに  
地域経済の未来に取り込む

<事業内容>

信用金庫取引先の海外展開支援

- 信用金庫取引先の海外子会社向けの貸出
- 海外進出や販路開拓等、信用金庫取引先の海外ビジネスに関する支援

本中金の投融資の支援

金融イノベーションにかかる調査・研究

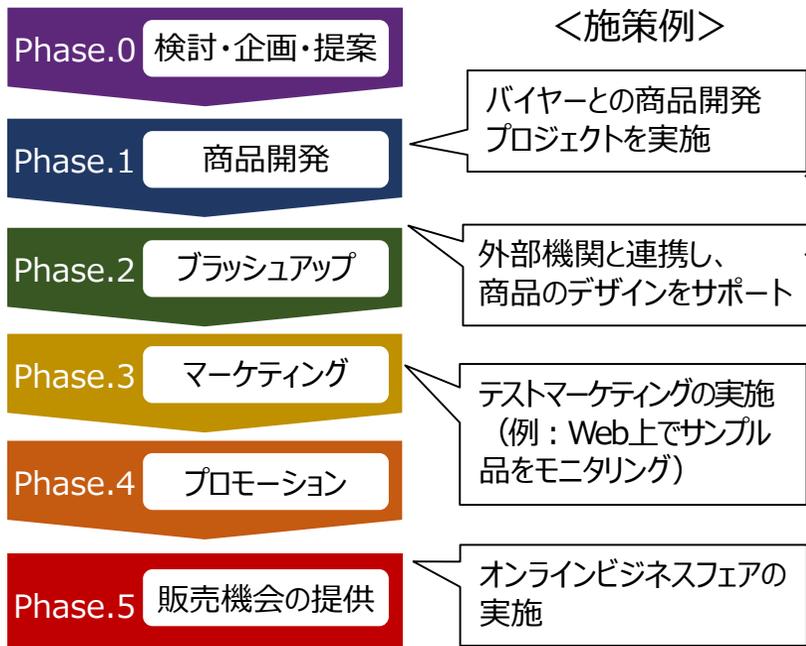
信用金庫業界の人材育成

- 地域商社「しんきん地域創生ネットワーク(株)」の設立認可を2021年3月に取得、7月に設立・開業予定
- 地域経済の発展を目指し、「地域商社事業」と「地域創生コンサルティング事業」に取り組む

## 【しんきん地域創生ネットワークの事業概要】

### 地域商社事業

- 中小企業等に向けて、「商品開発」から「販売機会の提供」まで、商流上における課題解決のソリューションをワンストップで提供
- 各種支援を通じて、全国の多種多様な魅力ある地域資源の価値を向上させ、域外の大消費地に展開



### 地域創生コンサルティング事業

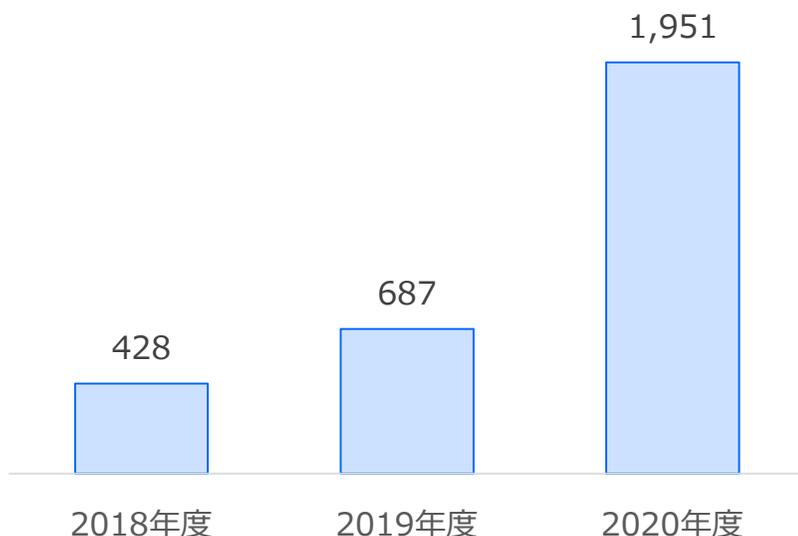
- 地方自治体等に向けて、現状分析および地域創生事業の提案を行い、コンサルティング案件を獲得
- 体制構築からフォローアップまでワンストップでコンサルティングを実施



- 2020年度のESG投融資額は、2019年度実績687億円に対し、1,951億円と大幅に増加
- 地域のPFI案件に対して積極的に関与し、地域経済の発展に取り組む

## 【 ESG投融資額の推移 】

(単位：億円)



- ✓ ESG投融資額は年々増加
- ✓ 環境問題に配慮した投融資推進の一環として、2021年4月に、「赤道原則（エクエーター原則）」を採択

## 【 PFI事業向けプロジェクトファイナンスの組成 】

- ✓ 福岡市が実施するPFI事業に対して、福岡市に拠点を有する4信金および本中金が融資
- ✓ 本事業の目的は、建替期を迎えた市民会館および公園の整備によって、両施設の魅力が相まったみどりあふれる文化芸術空間を創出し、国内外から多くの人々が集うエリアを形成すること

(全体 鳥瞰)



(文化施設 外観)



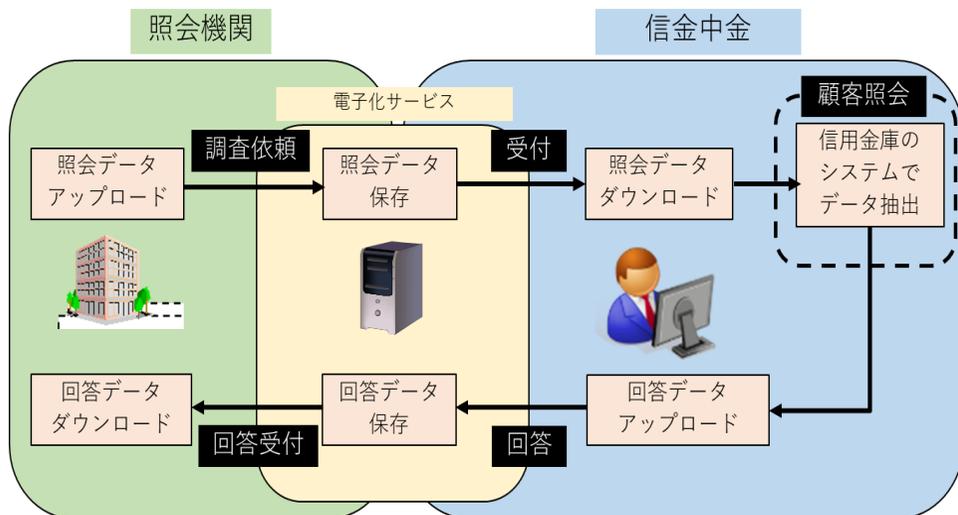
※資料提供：(株)福岡カルチャーベース  
 ※画像はイメージ図

- 預金調査事務の共同化について、2020年5月から一部自治体・信用金庫との間で電子化の実証実験を実施
- 電子契約の取組みについて、2021年3月に本中金初となる電子契約による信用金庫業界外向け証書貸付を実行

## 【預金調査事務の電子化にかかる実証実験】

- ✓ 4金庫・6自治体と実証実験を実施（2021年3月末時点）
- ✓ 内閣官房および金融庁が設置したワーキンググループの検討結果を踏まえ、今後の対応を検討

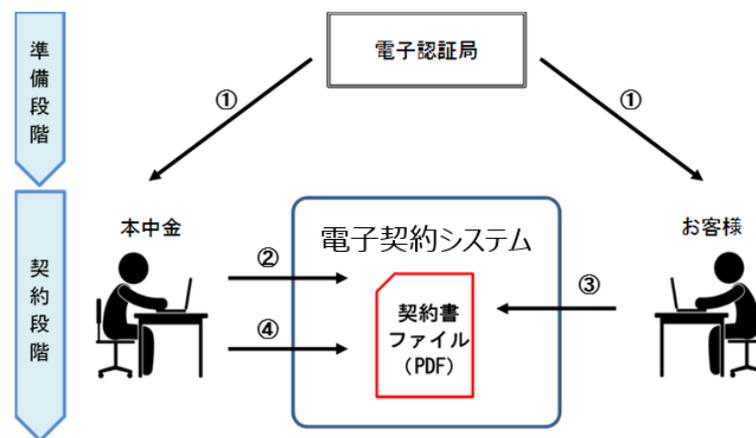
### ＜共同化スキームにおける電子化のイメージ＞



(備考) 公表情報を基に本中金が作成

## 【電子契約の取組み】

### ＜電子契約のイメージ＞

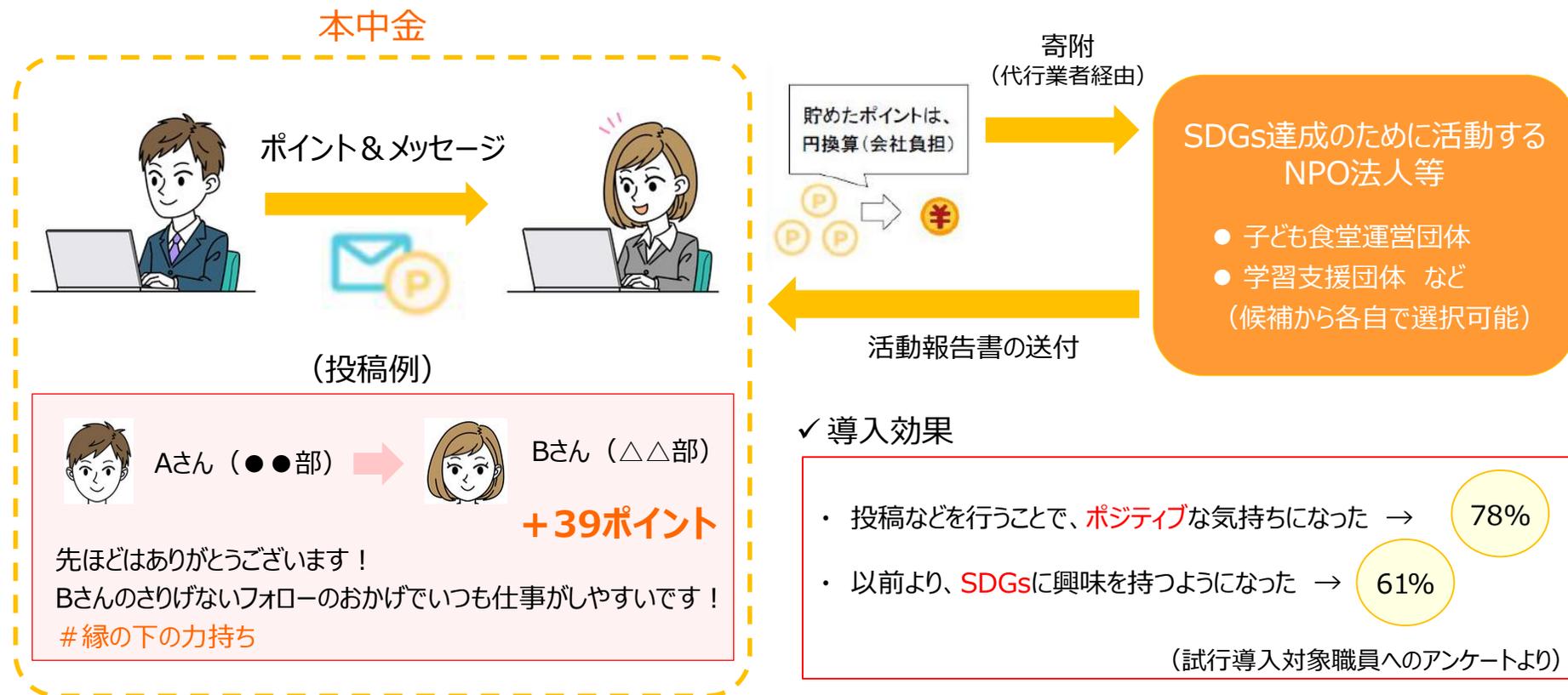


- ① お客さまおよび本中金は、電子認証局から、電子署名に使用する電子証明書の発行を受ける。
- ② 本中金は、契約書ファイルをシステム上にアップロード
- ③ お客さまは、契約書ファイルの内容をご確認のうえ、電子署名を付与
- ④ 本中金は、契約書ファイルに電子署名を付与

- 役職員間のコミュニケーションの活性化やエンゲージメントの向上を目的に、2021年4月に「SCBピアボーナス」を導入
- 各自が受け取ったポイント数に応じてNPO法人等へ寄附が行われることで、職員のSDGsへの意識が向上

## 【「SCBピアボーナス」の概要】

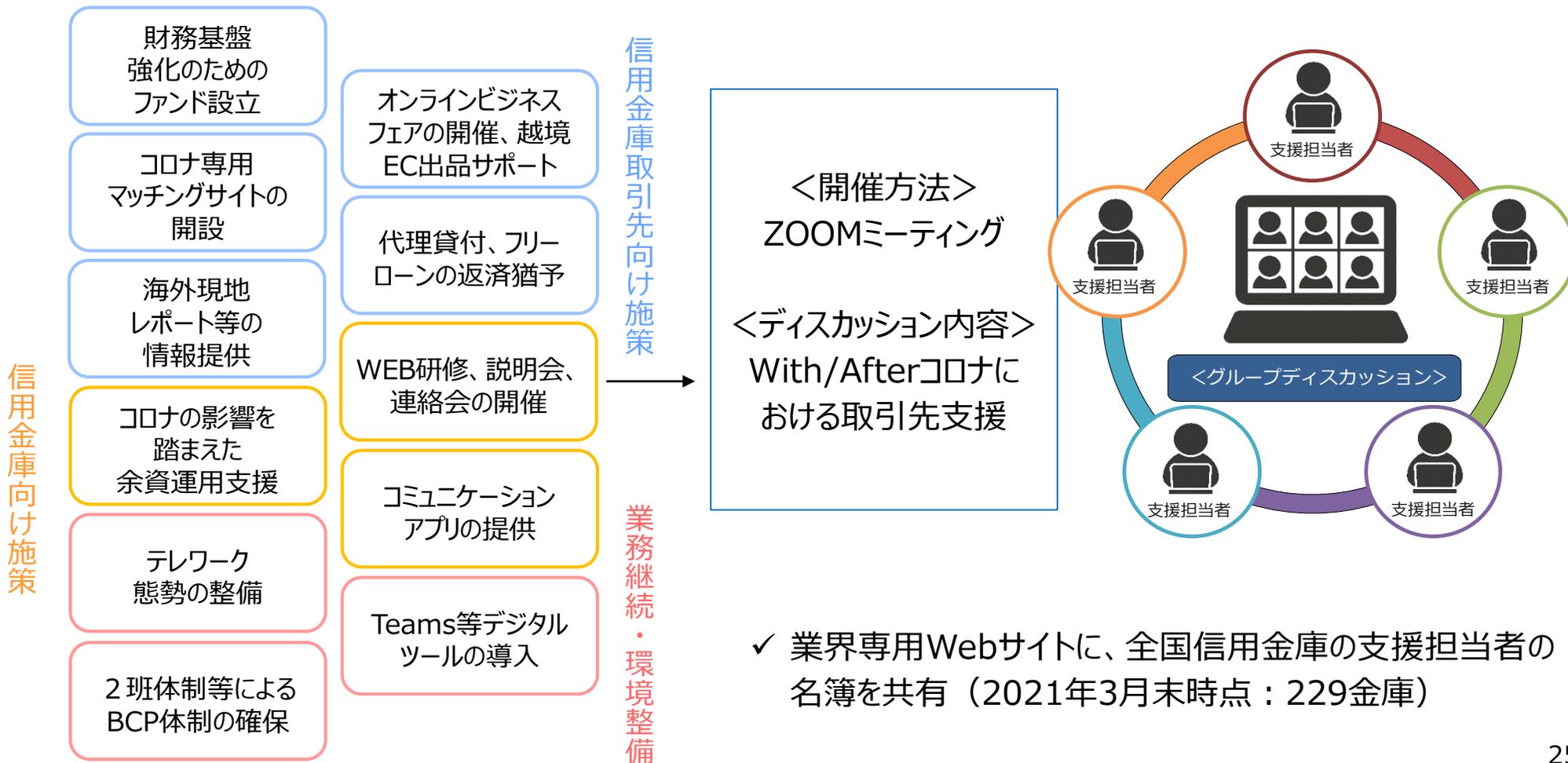
ピアボーナスとは？・・・職員同士が日頃の行動や仕事の成果に感謝・称賛しメッセージとともに報酬を送りあう制度



- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、信用金庫取引先、信用金庫等に向けた施策を継続的に実施中
- ▶ 全国の信用金庫における中小企業支援担当者を対象とした連絡会を開催

## ＜主な新型コロナウイルス対応施策＞

## 【「中小企業支援担当者連絡会」の実施等】



# 信用金庫のネットワーク

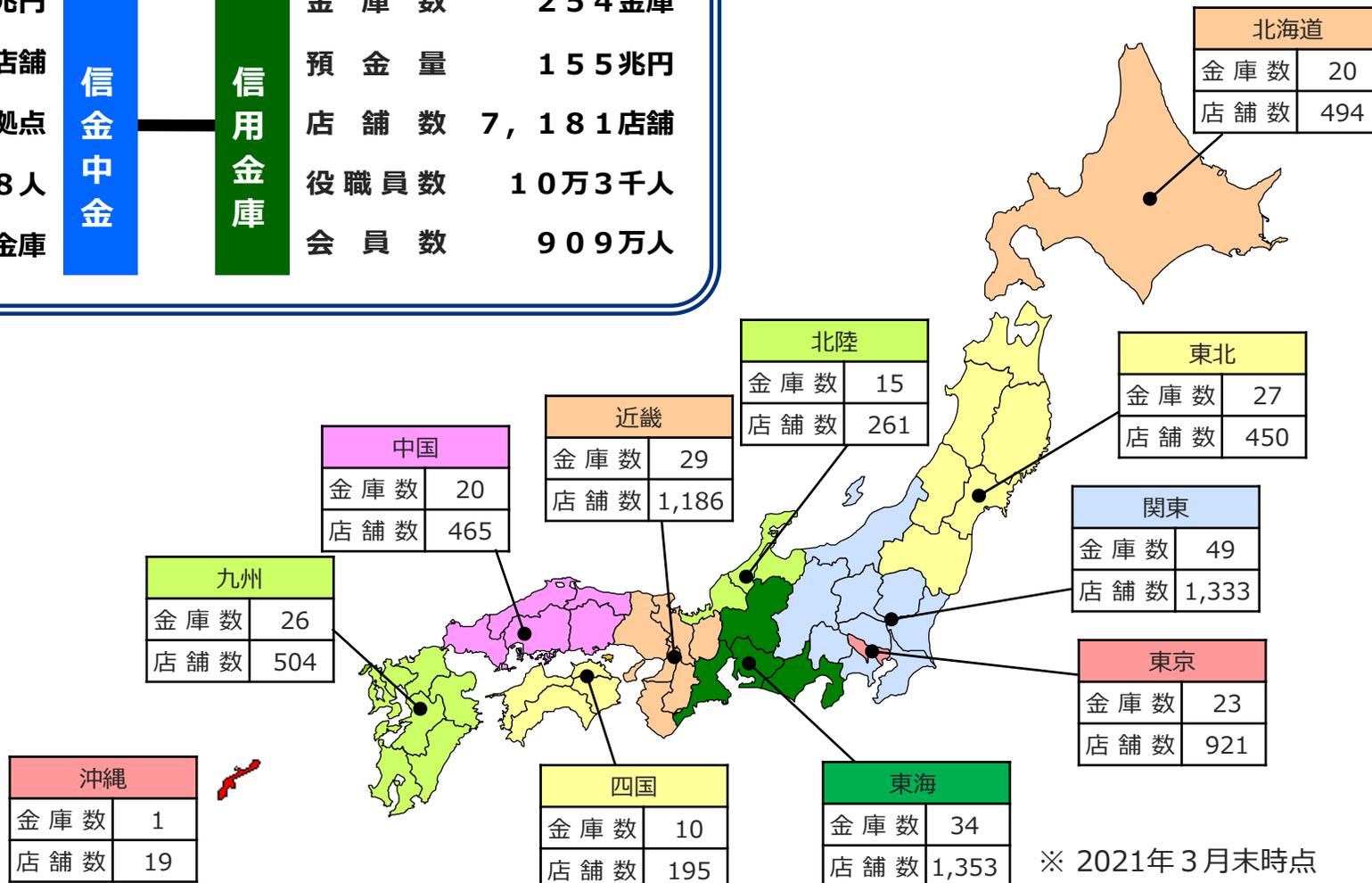


信  
金  
中  
金

信  
用  
金  
庫

資 金 量      35兆円  
 拠 点 数      国内14店舗  
                  海外 6拠点  
 役 職 員 数   1,248人  
 会 員 数      254金庫

金 庫 数      254金庫  
 預 金 量      155兆円  
 店 舗 数      7,181店舗  
 役 職 員 数   10万3千人  
 会 員 数      909万人



※ 2021年3月末時点  
 ※ 速報値ベース

本資料は、信金中金の事業内容および業績に関する情報の提供を目的としたものであり、信金中金の優先出資への投資を勧誘するものではありません。

また、本資料は信金中金が信頼できると判断した情報に基づき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではありません。

なお、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の信金中金の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。



# 信金中央金庫

SCB

<お問合せ先>

信金中央金庫

総合企画部 IR広報室

TEL : 03 (5202) 7700

E-mail : [s1000551@facetoface.ne.jp](mailto:s1000551@facetoface.ne.jp)

URL : <https://www.shinkin-central-bank.jp/>